

いくはぎょこう 育波漁港

所在地：淡路市 育波



「今と昔の融合」淡路市 桑名善鉄氏撮影（第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

淡路島は、「御食国（みけつくに）」と呼ばれ朝廷へ水、農作物、魚介類などを献上していたほど、古来より第1次産業が盛んな地域でした。

育波漁港では、淡路島北部西浦に位置し、船曳網漁業と海苔養殖がおこなわれています。特に、1月から5月の「イカナゴ漁」、6月から12月の「ちりめん漁」の最盛期には、港が大変賑わう日本有数の漁港です。一方で、海苔養殖は12月から4月まで行われ、良質の海苔を出荷しています。

また、海釣りポイントとして、島内外から多くの釣り客が訪れます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
 - ✓ 歴史が作りだす景観
 - ✓ 生活・文化が作りだす景観
 - ✓ 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道北淡ICから県道123号線を北上。車で約10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図